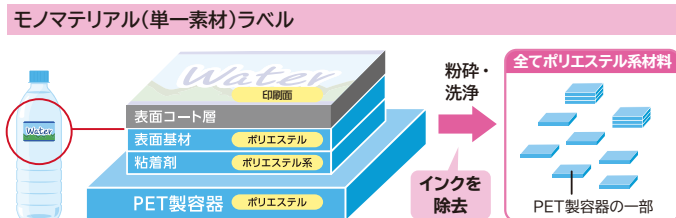
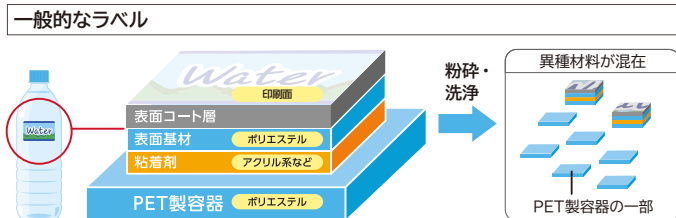


## PET製容器のリサイクルに貢献するラベル素材を発売

ラベルの粘着剤にはアクリル系やゴム系の樹脂を使うのが一般的ですが、ラベルがペットボトルなどのPET製容器に貼られた場合、容器のリサイクル効率低下の一因になっていました。そこで当社ではポリエステル系の粘着剤を新たに開発し、ポリエステルを使った表面基材と組み合わせ、PET製容器とのモノマテリアル(単一素材)化を実現したラベル素材を発売。表面基材の特殊な処理によって、ペットボトルのリサイクル工程で行われているアルカリ温水洗浄時に印刷されたインクを除去することができ、異種材料の混在を防いでリサイクル効率の向上に貢献します。



ラベルを剥がして分別するという考え方に加え、ラベルが残ったままでもリサイクルの妨げとなりにくいモノマテリアルラベル素材

## ホットメルト粘着剤を使用したラベル素材の国内展開を強化

当社では米国子会社の技術を活用し、固形樹脂を熱で溶かしながら塗工するホットメルト粘着剤チル エーティーを使用したラベル素材「CHILL AT」を2020年から国内市場に本格投入しています。このたびはその展開強化に向け、ラベル貼付後にズレにくく、曲面への貼付性などにも優れた、幅広い用途で使用できる強粘着タイプの粘着剤エイチブイティーを開発。同粘着剤を使用したラベル素材各種を「HVT」シリーズとして2月に発売しました。粘着剤の塗工時に有機溶剤が不要なことに加え、植物由来原料の活用や低塗布量を図ることで石油由来原料の使用量を削減しており、高まる環境配慮ニーズに応えるラベル素材として拡販に努めていきます。



日用品や食品といった幅広い分野の表示ラベルなどに使用可能



2022年度 新聞広告シリーズ

# リンテック みっけ!

あなたの身近なところに、リンテックテクノロジー。

持続可能な社会の実現に向けて、リンテックはさまざまな製品や技術を生み出しています。皆様の“暮らしの中で活躍するリンテック”を好奇心旺盛な黒猫と一緒に見つける広告シリーズです。

【掲載紙】

日本経済新聞、読賣新聞、朝日新聞、毎日新聞、産経新聞、北海道新聞、中日新聞、中国新聞、西日本新聞、上毛新聞、神戸新聞、愛媛新聞、日刊工業新聞、化学工業日報

炭素繊維はその軽さや強度から航空機の主要部分などに使われており、機体の軽量化による燃費向上を図るうえで不可欠な素材となっています。1本1本が髪の毛のように細いこの炭素繊維をシート状の中間材料へと加工する際に必要なのがリンテックの工程紙です。

炭素繊維のシート加工に必要な紙  
リンテック  
みっけ!

航空機の軽量化で燃費を向上させる  
炭素繊維のシート加工に必要な紙  
リンテック株式会社

## 1月 掲載広告

炭素繊維はその軽さや強度から航空機の主要部分などに使われており、機体の軽量化による燃費向上を図るうえで不可欠な素材となっています。1本1本が髪の毛のように細いこの炭素繊維をシート状の中間材料へと加工する際に必要なのがリンテックの工程紙です。



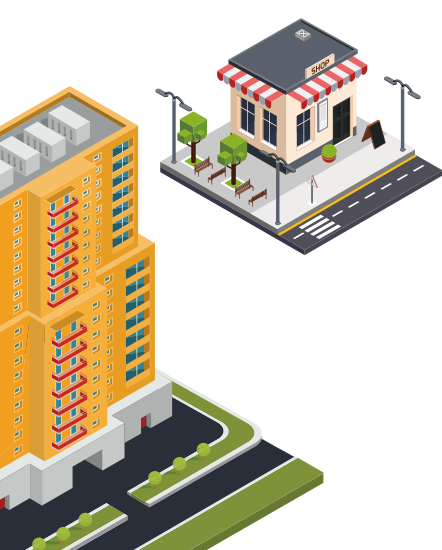
リンテック  
みっけ!

リンテックでは安全性を評価した物質のみを使用可能とする食品衛生法に対応したラベル素材を展開。果物などに直接貼付できるほか、一般のラベルでは剝がれやすい凍結・結露面にしっかりと貼れることから、冷凍食品の表示ラベルとしても提案を強化しています。

果物などに直接貼っても安心・安全な  
食品衛生法に対応したラベル素材  
リンテック株式会社

## 2月 掲載広告

リンテックでは安全性を評価した物質のみを使用可能とする食品衛生法に対応したラベル素材を展開。果物などに直接貼付できるほか、一般のラベルでは剝がれやすい凍結・結露面にしっかりと貼れることから、冷凍食品の表示ラベルとしても提案を強化しています。



リンテックは  
いつも  
そばに。

あなたの暮らしの身近な場所で  
持続可能な未来をつくる  
リンテック株式会社

## 3月 掲載広告

当新聞広告シリーズでは、一年間にわたり持続可能な社会の実現に向けて身近なところで活躍するリンテックの製品や技術を紹介してきました。私たちはこれからも、さまざまな社会的課題に向き合いながら、持続可能な未来につながる製品を開発・提供していきます。

製品の詳細は右記の二次元コードからウェブサイトにて御覧いただけます。

DREAM FACTORY  
www.lintec.co.jp/dream/ad



## 四半期連結財務諸表

### 四半期連結貸借対照表(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結会計期間	前連結 会計年度
流動資産	187,424	182,224
固定資産	135,911	120,640
<b>① 資産合計</b>	<b>323,336</b>	<b>302,865</b>
流動負債	74,098	72,382
固定負債	20,721	20,724
<b>② 負債合計</b>	<b>94,819</b>	<b>93,107</b>
<b>③ 純資産合計</b>	<b>228,516</b>	<b>209,758</b>
負債純資産合計	323,336	302,865

### 四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間
<b>④ 売上高</b>	<b>216,552</b>	<b>191,245</b>
売上総利益	50,044	50,149
販売費及び 一般管理費	36,797	32,378
<b>⑤ 営業利益</b>	<b>13,246</b>	<b>17,770</b>
経常利益	15,237	18,558
税金等調整前 四半期純利益	15,224	18,828
<b>⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益</b>	<b>11,075</b>	<b>13,373</b>
四半期包括利益	28,672	18,522

### ■ ポイント！

#### ① 資産合計

自己株式の取得などにより「現金及び預金」が減少しましたが、米国での事業買収や調達コストの上昇により「棚卸資産」が大幅に増加したほか、成長分野への積極投資による「有形固定資産」の増加などにより、総資産は204億71百万円増加しました。

#### ② 負債合計

「未払法人税等」などが減少しましたが、当連結会計期間の末日が金融機関の休日であった影響による「支払手形及び買掛金」の増加などにより、負債は17億12百万円増加しました。

#### ③ 純資産合計

自己株式の取得による減少がありましたが、円安の進行による「為替換算調整勘定」の増加などにより、純資産は187億58百万円増加しました。

#### ④ 売上高

米国での事業買収の効果で印刷・情報材事業部門が大幅に増加したことなどにより、売上高は253億6百万円増加しました。

#### ⑤ 営業利益

円安による増益効果はありましたが、原燃料価格上昇の影響を大きく受けたことなどにより、営業利益は45億24百万円減少しました。

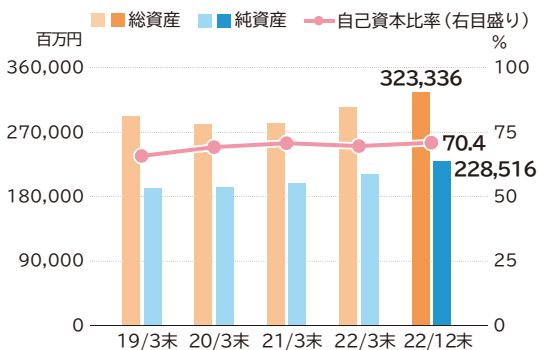
#### ⑥ 親会社株主に帰属する 四半期純利益

円安の進行により為替差益が大幅に増加しましたが、営業利益が減少したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億98百万円減少しました。

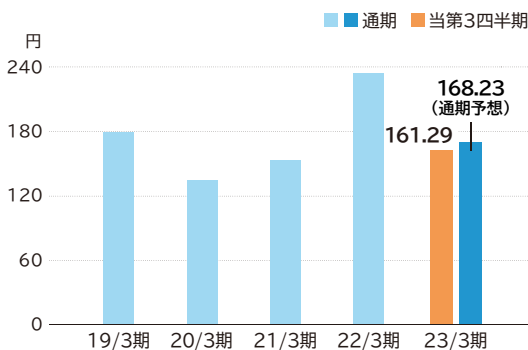
## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(単位：百万円)	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 連結累計期間
営業活動による キャッシュ・フロー	6,702	20,887
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,942	△10,537
財務活動による キャッシュ・フロー	△12,582	△10,973
現金及び現金同等物の 四半期末残高	41,082	58,649

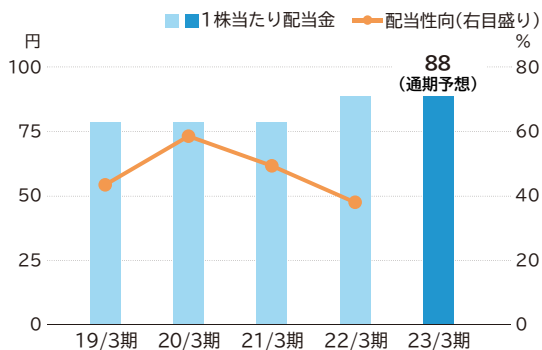
## 総資産・純資産・自己資本比率



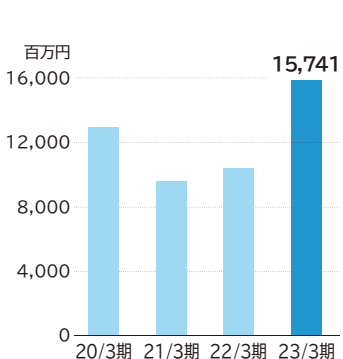
## 1株当たり四半期(当期)純利益



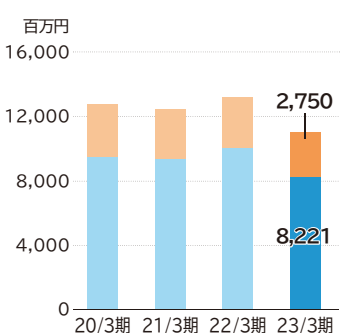
## 1株当たり配当金・配当性向



## 設備投資額



## 減価償却費 のれん償却額



## 研究開発費

